



社会福祉法人
肝付町社会福祉協議会
肝付町ボランティアセンター

望 縁 郷

vol.33
2018 / 7

編集発行：肝付町社会福祉協議会 【やぶさめの里総合公園福祉会館内】
TEL：0994-68-8188 FAX：0994-68-8187
<http://www5.synapse.ne.jp/kt-syakyou/>

町民のみなさん、「安心」をありがとう！



内之浦小学校



岸良小学校



宮富小学校



高山小学校



国見小学校



波野小学校

肝付町社会福祉協議会では、「県下一元気で安心・安全な町づくり」の一環として、『赤い羽根共同募金』を財源として町内の新一年生に毎年防犯ブザーを贈っています。子どもは「社会の宝」「地域の宝」、そのかけがえのない笑顔を地域ぐるみで温かく見守りましょう。

◆記事内容◆

町民のみなさん、「安心」をありがとう！	表紙
平成29年度大隅地区障がい(児)者スポ・レク体験会	2
平成29年度徘徊模擬訓練 in 新富	3
寄り合いの場 『結(ゆ)いの家』紹介	4
肝付町共同募金委員会からお知らせ	5
健康づくりボランティア募集	6
ボランティアセンターのご案内 他	7
お知らせ	8

望縁郷(ぼうえんきょう)の願い！

望んでいます。地域の温かいつながり(縁)で、誰もが安心して暮らせる肝付町(郷)であることを！

ボランティアや福祉活動を、気軽に楽しく(エンジョイ)、今日(キョウ)から始めて頂きたいと願っています！

この「望縁郷」が故郷肝付町と町外の肝付町出身の方との望遠鏡(ぼうえんきょう)になれば願っています！

この情報誌は、共同募金の助成を受けて発行されています。

平成29年度大隅地区障がい(児)者 スポ・レク体験会が開催されました！

平成30年3月3日(土)、肝付町福祉会館で障がい者スポーツに親しむ体験会が、肝付町近隣の障がい者スポーツ指導員などのボランティアにより開催されました。体験会では地域の障がいのある方、施設利用者や指導者など70名近い方々がボッチャ、シャッフルボード、ペタンク、フライングディスクを楽しみました。

ボッチャは、最初に投げられた白い的(ジャックボール)にボールを投げて、どれだけ近くに止められるかを競う競技です。2チーム対抗で、点数の多い方が勝利となります。



シャッフルボードは、円盤(ディスク)を押し出す棒(キュー)で押し進めて、コート上の得点エリアへ入れるゲームです。2チーム対抗で、相手の円盤をはじき出すこともできます。



ペタンクは、ボッチャの元となったフランス発祥の競技です。ビュットと呼ばれる的になるボールにボールを投げて近づけます。

ボッチャ・シャッフルボード・ペタンクはカーリングと同じようなルールですので、スリリングで障がいの有無、年齢を問わず盛り上がりました。



フライングディスクは、フリスビーとも呼ばれるプラスチックの円盤を投げる競技です。障がい者スポーツ大会では遠投(ディスタンス)と一定の距離からゴールに入れるアキュラシーがあります。当日は雨のためアキュラシーのみを体験しました。



3月3日以降、体験会に参加された個人や施設の方が何組かスポーツ・レクリエーションを目的に肝付町福祉会館を訪れました。また6月からは、毎月第3土曜日午前10時から、障がい者スポーツの練習やレクリエーションをボランティアの方々の協力でおこなっていくことになっています。興味のある方は、電話お問い合わせの上ご参加ください。

肝付町社協 68-8188

平成29年度 徘徊模擬訓練 in 新富

3月10日、新富地区五社馬場にある東部分団消防詰所で、『寄って結って会』が主催する『徘徊模擬訓練 in 新富』が開催されました。参加者は地域の方々を始め、町内外、遠くは県外からも参加があり、110名ほどとなりました。今年度は徘徊者役が靴に装着したGPSの位置を捜索者役の方々が携帯電話で確認して捜索し、最新技術を体験しました。

昼食は『さつきサロン』による豚汁と、『肝付町赤十字奉仕団』による炊き出し米が振る舞われました。

寄って結って会では今後も住民間でこの取り組みを継続し、認知症への理解を深め、介護を必要とする状況になっても住み慣れた家で安心して暮らしつづけられる地域にしていきたいと考えているそうです。



※徘徊模擬訓練は、皆様からいただいた「赤い羽根共同募金」の助成によりおこなわれています。

地域ケアを支える仲間たちの集いForケアニン

3月11日（日）、肝付町文化センターで、地域で介護福祉サービスに従事する方々からなる『地域ケアを支える仲間たちの集い実行委員会（通称：ケアニンず〜）』と町、町社会福祉協議会が主催する映画『ケアニン』の上映やトークショー、電動車いすなどの介護用品の展示体験会のイベントが開催されました。映画は「なんとなく」介護の仕事に就いた新人介護福祉士が、施設で働きながら認知症の高齢者と上手くコミュニケーションがとれず悩む中、担当となった高齢者と関係を深めていく物語で、上映中には涙を流される方もたくさんいました。昼食は『包括支援愛隊』によるスープと『肝付町赤十字奉仕団』による炊き出し米が振る舞われた他、東日本大震災が起こった3月11日だったことから、日本赤十字社の被災地支援パネルの展示がおこなわれ、1万円を超える義援金が集まりました。



寄り合いの場『結いの家』紹介

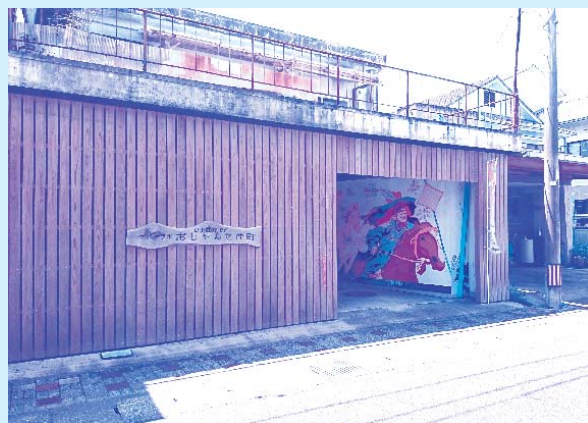
肝付町地域包括支援センター、肝付町社会福祉協議会では、地域福祉推進事業の一環として、地域の方々による空き家を活用した気軽に立ち寄れる「寄り合いの場」作り、さらにそこを拠点とした住民同士による生活支援サービスの検討・実施を支援しています。現在は、有明・波野地区に『いったんもめんと結いの家』、新富・前田地区に『おじゃんせ結の家』、北方・南方地区に『内之浦さかど結の家』があり、それぞれ地域の方々が集い活用されています。

いったんもめんと結いの家



- ①支えあいおすそ分け事業 毎週水曜日（H29年3月15日～） ②支えあい子ども地域クラブ事業（第2・4土曜日、長期休みは不定期実施予定） ③みんなの食堂（第2土曜日） ④椅子ストレッチクラブ

おじゃんせ結の家



- ①くらしの保健室 ②銀座サロン(第1・3木曜) ③椅子ストレッチクラブ ④ころばん体操クラブ 他

内之浦さかど結の家



- ①くらしの保健室 ②カフェサロン ③支えあいおすそわけ事業検討会 ④椅子ストレッチクラブ ⑤ころばん体操クラブ 他

町地域包括支援センター、肝付町社協では、空き家活用に限らず、それぞれの地域に合った生活支援サービスの検討・実施を支援しています。地域で自分の生活している地域の課題や支援について考えてみたい、話し合ってみいたい時、また、各結いの家でおこなわれている事業について興味を持たれた方質問のある方は下記までお問い合わせください。

肝付町包括支援センター 65-8419
肝付町社会福祉協議会 68-8188





肝付町共同募金委員会からのお知らせ

肝付町共同募金会では、「じぶんの町をよくする仕組み」のスローガンのもと、平成29年度に肝付町内で寄せられた『赤い羽根共同募金』を福祉または福祉に関する分野で、住みよい地域づくりにつながるような活動を行っている団体やボランティアグループに配分することで肝付町の福祉活動を応援しています。

○平成30年度助成金事業報告○ (平成29年度募金による助成金事業)

平成30年度配分金（総額）	2,657,475 円	
県共募配分	803,000 円	・大規模災害等の助成金・各福祉施設・各福祉団体
団体等配分	532,000 円	・17 団体（下表）
地域配分	1,322,475 円	・安心巡回車事業・ボランティア育成事業・地域福祉事業等

平成30年度 赤い羽根共同募金助成金配分団体

岸良地域支えあい委員会 寄って結って会	地域福祉事業	新富地区公民館 前田地区公民館 後田地区公民館 波野地区公民館	夏休み子ども講座
高山小学校 内之浦小学校 国見小学校	特別支援学級	岸良会 後田地域づくり事業 宮富祭り実行委員会	地域づくり事業
肝付町老人クラブ連合会 肝付町手をつなぐ育成会 肝付町母子・寡婦福祉会	福祉団体育成事業	たんぽぽサロン エコーせせらぎ	高齢者いきいきサロン ボランティア団体活動事業

赤い羽根共同募金は、地域福祉に取り組むあなたのまちづくりを支援します。

○共同募金助成に関するお問い合わせ先：肝付町共同募金会 事務局（肝付町社会福祉協議会内・68-8188）

日本赤十字社肝付町分区 平成29年度報告

会員増強運動月間（5月）へのご協力、ありがとうございました。

日本赤十字社は、会員から寄せられた会費・寄付金をもちいて、支援物資の備蓄、救護班の訓練・組織化をおこない災害等が起こった際に備えています。肝付町分区でも水害などの被災者に救援物資を配布し、訓練実演などの啓発活動による防災意識の向上に務めています。

災害支援物資 配布実績

被災件数 4 件（水害）

毛布 7 枚 日用品 2 セット 見舞品 2 セット

タオルケット 2 枚 ブルーシート 2 枚

訓練等実績

非常炊き出し訓練 3 回

肝付町赤十字奉仕団による炊き出し実演 3 回



西丸岡振興会による炊き出し訓練の様子
（新富地区公民館にて）

○今後とも赤十字社事業へのご理解とご協力をよろしくお願い致します。

日本赤十字社 肝付町分区（肝付町社会福祉協議会内・68-8188）

**65歳
以上の方へ**

健康づくり個人ボランティア募集中！

～肝付町高齢者元気度アップ・ポイント事業～

肝付町社会福祉協議会では、町の委託を受け「肝付町高齢者元気度アップ・ポイント事業」を実施しています。この事業は、町内の65歳以上のシニア世代の方々が、ご自身の健康づくりや地域での社会貢献活動に取り組むことに対し、地域商品券に交換できるポイントを付与することで、高齢者の健康維持や介護予防、社会参加の促進を図る事業です。

ご自身の健康づくりや社会貢献・地域活動をはじめのきっかけとして、たくさんのご友人と一緒に介護保険制度や介護予防、ボランティア等について学んでみませんか？



町や登録団体が行う健康づくり教室や研修会等への参加
○健康教室 ○介護予防教室
○交通安全教室 ○長寿大学
○ボランティア研修会など



健康増進課の検診など
○複合検診 ○肺がん検診
○女性がん検診
○結核レントゲン検診など
○検診結果報告会



ボランティア活動など
○町や登録団体が行う行事等の支援
○児童・障がい・高齢者等の福祉施設支援
○在宅高齢者支援

◆対象者◆ 町内在住の65歳以上の方（個人）

◆主な活動◆ ◎町等が実施する検診や健康づくり教室等への参加
各種検診・健康教室・介護教室・交通安全教室・研修会等
◎町が指定したボランティア活動



◆ポイント◆ 活動参加1回につき1ポイント（1ポイント100円相当）
ボランティア活動1時間につき1ポイント（1日上限2ポイント）
年間で50ポイント（5,000円相当）まで商品券に交換できます。
（5ポイントから交換）



※ポイントは10ポイントまで翌年度に繰り越すことができます。

※ポイントの付与と交換には、参加登録と研修会受講（年1回）などの条件があります。

◇問い合わせ◇ 肝付町社会福祉協議会 68-8188（ボランティアセンター）

* ボランティアセンターのご案内 *

ボランティア活動に興味をお持ちの方は、まずボランティアセンターへ！
ボランティア登録、ボランティア依頼、どちらも募集中！
 ボランティア活動保険に加入することも出来ます。

ボランティアセンターの役割

1、ボランティア活動支援

ボランティアをしたい人、ボランティア活動をしている人の相談に応じます。ご相談ください。

2、コーディネート

『ボランティアをしたい人』と『受けたい人』との調整をおこないます。

3、活動支援

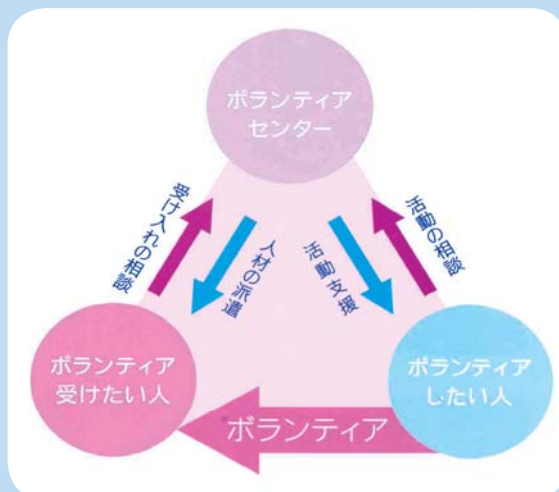
話し合いなどの場所の提供や車椅子などの資材の貸し出し、各種助成金の申請に関する相談、情報提供をおこないます。

4、ボランティア養成

ボランティア養成講座をおこなっています。今年度は手話講座を5月からおこなっています。

ボランティアに関心のある方は、気軽にご連絡ください。

肝付町社会福祉協議会ボランティアセンター TEL：0994-68-8188



日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償！！

平成30年度

ボランティア活動保険

全国200万人
加入！！

保険金額

保険金の種類	プラン	Aプラン	Bプラン
死亡保険金		1,040万円	1,400万円
後遺障害保険金		1,040万円 (限度額)	1,400万円 (限度額)
入院保険金日額		6,500円	10,000円
ケガの補償	手術 入院中の手術	65,000円	100,000円
	保険金 外来の手術	32,500円	50,000円
	通院保険金日額	4,000円	6,000円
	特定感染症の補償	上記後遺障害、入院、通院の各補償金額(保険金額)に同じ	
	葬祭費用保険金 (特定感染症)	300万円(限度額)	
賠償責任補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円(限度額)	

年間保険料(1名あたり)

タイプ	プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ		350円	510円
天災タイプ(※) (基本タイプ+地震・噴火・津波)		500円	710円

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

(※)天災タイプでは、天災(地震、噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償しますが(天災危険担保特約条項)、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

保険金をお支払いする主な例



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者

社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事
保険会社〉

損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課

TEL: 03(3349)5137

受付時間：平日の9:00～17:00(土日・祝日、12/31～1/3を除きます。)

取扱代理店

株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763

営業時間：平日の9:30～17:30(12/29～1/3を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

赤十字講習会のご案内

健康で安全な生活をおくっていただくために、日本赤十字社鹿児島県支部では下記講習会を開催しています。これらの講習会で身につけた知識と技術は、日常生活だけでなくボランティア活動などにも役立ちます。日程及び各種講習の内容につきましては県支部ホームページ (<http://www.kagoshima.jrc.or.jp/kyouryoku/kousyuukai.html>) 等でご確認ください。

○救急法 ○水上安全法 ○健康生活支援講習 ○幼児安全法 ○海の安全教室

また、10人以上のグループ（受講者）を対象に赤十字講習会指導員派遣をおこなっています。上記ホームページで詳細をご確認の上、派遣希望日の2ヶ月以上前にお問い合わせください。

【講習受付】099-256-2099【代表電話】099-252-0600 受付時間 平日 9:00～17:00

「平成30年大阪府北部地震災害義援金」募集へのご協力について

平成30年6月18日に発生した大阪府北部を震源とする最大震度6弱の地震により、大阪府を中心に大きな被害が出ました。この災害で被災された方々を支援するため、日本赤十字社鹿児島県支部及び肝付町分区では、次のとおり義援金を受け付けております。被災地の一日も早い復興を願い、皆様方の温かいご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

○義援金取扱口座に鹿児島銀行の支店に備え付けの専用振込用紙でお振込みください。

※他の銀行等から振込まれた場合は、振込手数料がかかります。

義 援 金 取 扱 口 座	鹿 児 島 銀 行	支店名	鹿児島銀行 鴨池支店
		口座番号	普通預金 664155
		口座名	「日本赤十字社 鹿児島県支部長」
		※振込み通知書に「平成30年大阪府北部地震災害義援金」と明記してください。また、受領証を希望される方は、併せて「受領証・要」と明記してください。	

募集期間
平成30年9月28日(金)
まで

○持参される方は、肝付町社会福祉協議会 本所（肝付町福祉会館内）及び 内之浦事業所（役場内之浦総合支所2階）でも受け付けています。 肝付町分区 68-8188

平成30年度 社会福祉協議会の会員募集にご協力をお願いします

社会福祉協議会（社協）は、社会福祉法で唯一『地域の福祉』を推進する社会福祉法人と位置づけられおり、それを実現するための各種福祉事業や、在宅介護を支える公益性の高い介護サービスを実施しています。

高齢者や障がい者の方々はもちろん、町民のだれもが明るく安心して暮らせる元気な福祉のまちづくりのために、住民・企業・事業所・団体によって組織される地域の団体です。

会員の種類	対 象	会費（年額一口）
一般会員	町内各世帯	500 円
特別会員	特に社協事業に賛同いただける	1000 円
団体会員	町内の保健、医療、福祉団体、	
個人会員	企業、事務所、町内外の個人	

※例年、一般会費は4月に各振興会長・班長さん方のご協力をいただき、各世帯にお願いしております。

☆会費は福祉の町づくりを進める財源として、地域の福祉活動並びにボランティア活動の財源になっています。